

(1) 低炭素・エネルギーの基本的な考え方

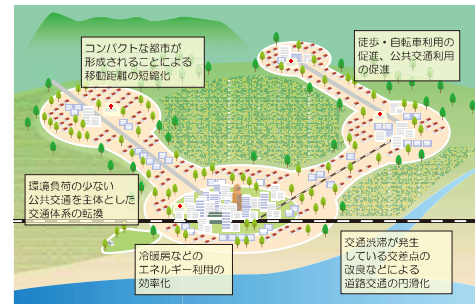
低炭素都市づくりの推進

都市のコンパクト化と都市交通の円滑化により都市のエネルギー消費を削減するとともに、再生可能エネルギー、未利用エネルギーの活用や、分散型エネルギーの導入、スマートコミュニティの構築などにより都市のエネルギー利用の効率化を図り、環境負荷の小さな低炭素都市づくりを推進します。

(2) 低炭素・エネルギーの基本方針

方針1 都市のコンパクト化と都市交通の円滑化による低炭素都市づくりの推進

- コンパクトな都市が形成されることによる移動距離の短縮化や、環境負荷の大きい自動車に依存した交通体系から環境負荷の小さい公共交通を主体とした交通体系への転換により、交通エネルギー部門における低炭素化を進めます。
- 都市のコンパクト化によるまとまった高密度な都市の形成により、冷暖房などのエネルギー利用の効率化を図り、熱エネルギー部門における低炭素化を進めます。
- 交通渋滞が発生している交差点の改良などによる道路の円滑化や、歩行空間・自転車通行空間の確保による徒歩・自転車利用の促進、また、便利な公共交通ネットワークの形成やモビリティマネジメントなどの交通政策による公共交通利用の促進など、都市交通の円滑化を図ることにより、交通エネルギー部門における低炭素化を進めます。



方針2 エネルギー利用の効率化による低炭素都市づくりの推進

- 太陽光やバイオマス、風力、小水力などの地域特有の再生可能エネルギーや、コージェネレーションによる排熱などの未利用エネルギーを活用した分散型エネルギーを導入し、地域内で自立したエネルギー源の確保を推進します。
- 個々の建築物の省エネルギー化をはじめ、エネルギーマネジメントシステムなどの導入により、地域でエネルギーを融通するスマートコミュニティを構築するとともに、コミュニティ同士をネットワーク化することで都市全体としてエネルギーを効率的に利用します。

